

生産管理一元化に伝送カウンターシステム

豊中計装

豊中計装は、古くて新しいコンセプトの「伝送カウンターシステム」を開発、このほど販売を開始した。システムは、センサーと伝送カウンター、伝送主ユニット、収集ソフト、パソコンで構成されている。

現場の伝送カウンターごとに積算された機械別の生産数等のデータ、エネルギー使用量等を離れた場所のノートパソコン等で自動的に収集でき、複数の遠隔管理が可能になる。カウンターはマッチ箱大の小さなもの(写真-1参照)で、電力やガス、蒸気等の使用量を7桁の数値で積算することができる。

省エネにつながる多点のエネルギーデータの自動測定や、省力化につながる機種ごとの生産数などの自動取り込みが簡単な配線でできる。

また、このカウンターは伝送機能をもっているためRS232Cインターフェース経由でのパソコンの指示に従って、積算データをパソコンにグラフ表示したり、ファイルに保存したりすることができる。

最大の特徴は、電源とデータ伝送を同一の配線で兼用し、低速ながら5km以上の通信ができる長距離の伝送方式を採用していること。このため2本の配線に254台のカウンターを接続し、個別に読み取ることができる。

伝送速度は500BPSで、10MビットのLANと比較すると遅いが、1秒間に500の信号を送れるので実用性は充分。速度が遅いぶん、信号幅が広いので、高度な回路技術を使わなくても、ノイズに強く、長距離でも減衰しない。

伝送カウンターのデータを取り込むソフトも低速でも動作するように作られているので、倉庫に眠っている10年前のマシンでも問題なく動く。このシステムはあえて時代に逆行し、ローコスト



写真-1 小さなカウンター

で整合性のとれた省資源時代のシステムといえる。

工場の生産ラインに利用すれば、ライン別に電力や蒸気の時間ごとのデータが測定でき、省エネに役立つ。また、ラインの部署ごとの製品数、不良数など自動集計できる。

問い合わせ先

豊中計装株式会社 営業部

〒561-0841・大阪府豊中市名神口 3-7-13

電話(06)6336-1690

E-mail : tk@toyonakakeisou.com